

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社ヤガミ
2 貴社の取組状況について	
(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 育児・介護休業法の改正に伴い柔軟な育児休業の取得が可能となり、男性が育児休業制度を利用しやすい企業風土を醸成していくため。	
(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 改正された法律に基づき「育児介護休業規程」を改訂し、出生時育児休業(産後パパ育休)制度の運用を開始した。	
(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 対象となる社員に個別に育児休業制度の概要を説明し取得希望有無を確認した。また育児休業取得時の社会保険料や給付金等について説明を実施した。	
(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 対象者から育児休業申出書が申請された後に部署長と休業期間等を共有し、取得者の不在時に業務への影響が及ばないよう事前調整を進めた。	
(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 育児休業制度の理解促進と休業取得に係るハラスメントが起らない職場環境づくりを進めるため、eラーニングにより定期的なハラスメント防止研修を実施する。	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算28日間
2 育児休業の取得について	
(1) 育児休業を取得したきっかけ 長女がまだ小さく、妻の育児負担が軽減できるよう、第二子出産時に取得いたしました。	
(2) 育児休業を取得して良かったこと 妻の負担を少しでも軽減できたことが一番良かったと思います。母子ともに健やかに育児休業期間を過ごすことができました。	
(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 事前に引継ぎ資料を作成したり、誰でも確認できるフォルダに業務資料を共有しました。	
(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育児休業中は常に子供と一緒に過ごしたことで、育児による目に見えない疲れも溜まることがわかりました。効率の良い業務を心がけ、なるべく時間内に業務を終わらせるよう努力しています。	
(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 新生児、乳児ならではの大変さは育児休業を取得していないと分からないケースもあると思います。自分の子供ですので、パートナーに任せきりにはせず、負担が減るよう何ができるか相談しながら検討してみてください。	